

2024（令和6）年度

教育研究等に係る自己点検・評価結果報告書



令和7年10月

札幌医科大学内部質保証推進委員会

## 目 次

|                    |    |
|--------------------|----|
| 1. 趣旨              | 1  |
| 2. 基本的な考え方         | 1  |
| (1) 自己点検・評価の対象事項   | 1  |
| (2) 自己点検・評価の方法（概要） | 1  |
| 3. 総括              | 2  |
| 4. 各所属の自己点検・評価結果   | 3  |
| (1) 医学部            | 3  |
| (2) 医学研究科          | 8  |
| (3) 保健医療学部         | 13 |
| (4) 保健医療学研究科       | 19 |
| (5) 専攻科            | 24 |

## 1. 趣 旨

大学における自己点検・評価については、学校教育法109条第1項により「大学は、その教育研究水準の向上に資するため、文部科学大臣の定めるところにより、当該大学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。」と定められ、また、同法109条第2項では「当該大学の教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。」と定められていることから、公立大学においても、外部機関による認証評価の受審はもとより、自主的・自律的な質保証（内部質保証）の取組が求められている。

本学では、内部質保証の取組を推進するため、「北海道公立大学法人札幌医科大学内部質保証規則」を定めるとともに「北海道公立大学法人札幌医科大学内部質保証推進委員会（以下「委員会」という。）」を設置している。また、全学の自己点検・評価を実施するに当たり「北海道公立大学法人札幌医科大学全学自己点検・評価実施規程」を定め、当該規程の下に定める「札幌医科大学教育研究等に係る自己点検・評価実施細則（以下「実施細則」という。）」に基づき、自己点検・評価の実施主体として「内部質保証推進委員会認証評価部会（以下「部会」という。）」を設置の上、教育研究等に係る自己点検・評価の実施及び点検・評価の結果を踏まえた改善活動を推進する体制を整えている。

本報告書は、令和6年度に実施した教育研究等に係る自己点検・評価の結果と課題の改善計画をまとめたものである。

## 2. 基本的な考え方

### （1）自己点検・評価の対象事項

実施細則に基づき、教育目標や三つの方針等に即した教区活動の有効性を検証し、その質の保証及び向上を目的として、公益財団法人大学基準協会が定める評価基準のうち、「基準4 教育・学習」及び「基準5 学生の受け入れ」を活用し、医学部・保健医療学部・医学研究科・保健医療学研究科・専攻科（以下「各学部等」という。）の現状を点検・評価を実施した。

### （2）自己点検・評価の方法（概要）

- ・ 実施細則に基づき、各学部等の長は部会からの依頼を受け「教育研究等に係る自己点検・評価シート（以下「点検シート」という。）」を作成。
- ・ 各部会等の長は、作成した点検シートを教授会等の議を経て部会に提出。
- ・ 部会は点検シートを検証し検証結果を記載の上、委員会に提出。
- ・ 委員会は点検シートの内容を審議し、教育研究評議会に付議。教育研究評議会は審議結果を学長に報告。
- ・ 学長は、教育研究評議会からの報告を基に自己点検・評価結果を決定。各学部等の長に対し、結果を通知するとともに必要な改善等を指示する。

### 3. 総 括

令和6年度における教育研究等に係る自己点検・評価の結果、本学の内部質保証の関係規程に定める評価基準に照らし、若干の課題は見られるが、課題に対する改善計画が明確であり、おおむね基準を満たしていると判断する。

なお、本学が令和6年度に受審した大学機関別認証評価における指摘事項（改善を要する点）への対応については、評価報告書の受領が令和7年3月末であったため、評価シート上に言及はないが、令和7年度に関連の各委員会で検討を進め、改善を図る計画である。

#### 【大学機関別認証評価における指摘事項（改善を要する点）】

- 一部の学部のカリキュラム・ポリシーについては、中央教育審議会のガイドラインを踏まえ、学習成果の評価の在り方を明示することが求められる。

#### 【各所属における全体の自己評価】

##### ○ 評価基準

「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な改善すべき事項がある」、「C：重度な改善すべき事項がある」

| 所 属         | 全体の自己評価 |     |
|-------------|---------|-----|
|             | 基準4     | 基準5 |
| 医 学 部       | A       | A   |
| 医 学 研 究 科   | A       | A   |
| 保 健 医 療 学 部 | A       | A   |
| 保健医療学研究科    | A       | A   |
| 専 攻 科       | A       | B   |

※ 自己点検・評価の詳細は次頁以降を御参照のこと。

#### 4. 各所属の自己点検・評価結果

##### (1) 医学部

| 評価項目                                                                                | 評価の視点   |                                                                                           | 自己点検・評価結果                                                                                                                                        |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                                                     |         |                                                                                           | 現状説明（概要）                                                                                                                                         | 評価 |
| ①達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示していること。                                              | No. 401 | DPにおいて、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、CPにおいて、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。 | DPにおいて、学生が習得すべき知識、技能、態度等を明示している。また、CPにおいて、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしている。                                                                 | A  |
|                                                                                     | No. 402 | 上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。                                                                    | DPの達成に向け、体系的なカリキュラムを提供しており、学修成果はAPに基づき評価していることから、学位授与の基準としてふさわしいと判断する。                                                                           | A  |
| ②学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。                               | No. 403 | 学習成果の達成につながるよう、CPに沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。                                           | 大学の理念に即した独自の医学教育プログラムを含め、学習成果の達成につながるよう、CPに沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成している。                                                                          | A  |
| ③課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。 | No. 404 | 授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及びCPに応じたものであり、期待された効果が得られているか。                     | 授業形態、授業方法を定めた規程等に基づき、講義、実験、実習及び演習等を行っている。これらは、学部教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及びCPに応じたものであり、達成に向けた意識が醸成され、期待された効果が得られていることを確認している。                       | A  |
|                                                                                     | No. 405 | ICTを利用した遠隔授業を提供する場合、自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられているか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られているか。      | ICTを利用した遠隔授業の提供に関しては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行後は原則対面授業としているが、学生の効果的学修を促し、かつ教員の負担を軽減するため、ICTを活用した効率的な授業形態を令和7年度内に検討する。                               | B  |
|                                                                                     | No. 406 | 授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。               | 医学部の特性上、必修科目が多いが、一例として各学年に配置する学生担当教員によるフォローアップやシラバス作成ガイドラインに基づくシラバスの作成など、授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行っており、学生が意欲的かつ効果的に学習できている。 | A  |

| 評価項目                                     | 評価の視点   |                                                  | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                 |    |
|------------------------------------------|---------|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                          |         |                                                  | 現状説明（概要）                                                                                                                                                  | 評価 |
| ④成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っていること。             | No. 407 | 成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。               | 成績評価及び単位認定について、評価方法や形式を授業科目ごとに定め、各科目の目標に沿ったアセスメント・マップを作成の上、評価基準を明確化するなどにより、客観的かつ厳格で、公正、公平に実施している。今後は新たに策定した全学的な成績評価に関するガイドラインに則り、取組を推進する計画である。            | A  |
|                                          | No. 408 | 成績評価及び単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。 | 成績評価及び単位認定にかかる基準・手続、疑義申立制度について、シラバスを通じて学生に明示しているほか、評価結果についての疑義申立制度を設けている。                                                                                 | A  |
|                                          | No. 409 | 既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。        | 既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定については、教授会の議を経て学部長が認定することや、手続きの手順及び対象となる実践的な能力等についても規程に定め、適切に運用している。                                                          | A  |
|                                          | No. 410 | 学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。                         | 学位授与における実施手続及び体制については、教授会の議を経ることなどを規程に明確に定めて運用している。                                                                                                       | A  |
|                                          | No. 411 | DPに則して、適切に学位を授与しているか。                            | 学位授与に係る実施手続や体制を整備の上、学部の教育方針やDPに基づき、適切に実施している。                                                                                                             | A  |
| ⑤学位授与方針（DP）に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。 | No. 412 | 学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。            | 学修成果を把握・評価する目的や指標、方法等についての考えを明確にするため、全学及び学部のそれぞれに3ポリシーを策定し、これらのポリシーに基づき、教育評価の方針（アセスメント・ポリシー）を定めている。また、学修成果を把握することを目的として、カリキュラム・マップ及びアセスメント・マップを策定し導入している。 | A  |
|                                          | No. 413 | 学習成果を把握・評価する指標や方法は、DPに定めた学習成果に照らして適切なものか。        | 学習成果を把握・評価する指標や方法に関し、ポリシーやコンピテンス・コンピテンシー等に基づき、適切な運用に努める一方で、臨床実習における評価方法の妥当性の検証については講座間で取組の濃淡があるため、均一化を図る必要があると認識している。令和7年度に現状の確認・検証を行い、改善を図る計画である。        | B  |

| 評価項目                                               | 評価の視点   |                                                                                  | 自己点検・評価結果                                                                                                                               |    |
|----------------------------------------------------|---------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                    |         |                                                                                  | 現状説明（概要）                                                                                                                                | 評価 |
| ⑤学位授与方針（DP）に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。           | No. 414 | 指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、大学として設定する目的に応じた活用を図っているか。                                | 指標や方法を適切に用いた学習成果の把握・評価に関し、学生に対する授業評価アンケートの見直しや、アセスメントマップを活用した学修成果の達成度の確実な評価に資するためのマイルストーンの設定が必要と認識しており、それぞれ検討を進め令和7年度中に改善を図る計画である。      | B  |
| ⑥教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。 | No. 415 | 教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。                           | 令和6年度から新たな内部質保証体制下での運用を開始しており、自己点検・評価の体制、方法及び周期等を規程に定め、大学公式Webにも掲載している。                                                                 | A  |
|                                                    | No. 416 | 課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。 | IR推進センターにおいて新入生・在学生・卒業生を対象とした各種の調査を実施しており、調査結果を基に教学IRデータブックを発刊するなど、情報の収集・分析に継続して取り組んでいるほか、過去の国家試験合格率を基に試験対策の実施又は改善を適宜実施している。            | A  |
|                                                    | No. 417 | 外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高めるための工夫を行っているか。                                 | 自己点検・評価の客観性を高めるため、学生や行政機関・医療機関・教育機関等の外部者が委員会へ参加の上、議論に加わる体制を整えている。また、每期実施される授業評価アンケートに加え、学生から幅広い意見・要望を聴く機会として学生グループ制や学生支援会議を毎年企画・実施している。 | A  |
|                                                    | No. 418 | 自己点検・評価の結果を活用し、教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。                                   | 自己点検・評価の体制は整っているが、結果を活用した改善・向上の一連の取組については実績を積み重ねていく必要があると認識しており、関連の委員会において継続的に検討の上、取組を推進していく計画である。                                      | B  |

| 評価項目                                                                          | 評価の視点   |                                                                                         | 自己点検・評価結果                                                                                                                                           |    |
|-------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                                               |         |                                                                                         | 現状説明（概要）                                                                                                                                            | 評価 |
| ①学生の受け入れ方針（AP）に基づき、学生募集及び入学<br>者選抜の制度や運営体制を適<br>切に整備し、入学者選抜を公<br>平、公正に実施しているこ | No. 501 | APIは、少なくとも学位課程ごと<br>（学士課程・修士課程・博士課<br>程・専門職学位課程）に設定して<br>いるか。                           | 求める学生像、入学までに学習し<br>ておくことが期待される内容、入<br>学者選抜の基本方針をAPとして示<br>しており、これらの理念に沿って<br>入学者選抜を行っている。                                                           | A  |
|                                                                               | No. 502 | APIは、入学前の学習歴、学力水<br>準、能力等の求める学生像や、入<br>学希望者に求める水準等の判定方<br>法を志願者等に理解しやすく示し<br>ているか。      | APIには、入学前の学習歴、学力水<br>準、能力等の求める学生像や、入<br>学希望者に求める水準等の判定方<br>法を理解しやすく示している。ま<br>た、入学者に求める資質・能力に<br>ついて、入学者選抜要項、学生募<br>集要項及び大学公式Webに掲載し<br>ている。        | A  |
|                                                                               | No. 503 | APIに沿い、適切な体制・仕組みを<br>構築して入学者選抜を公平、公正<br>に実施しているか。                                       | 入試委員会の下に複数の委員会を<br>設置し、相互の連携・協力体制を<br>確保した上で、APIに沿った入学<br>者選抜を公平、公正に実施してい<br>る。                                                                     | A  |
|                                                                               | No. 504 | 入学者選抜にあたり特別な配慮を<br>必要とする志願者に対応する仕組<br>みを整備しているか。                                        | 関係規程を整備の上、入学者選抜<br>にあたり特別な配慮を必要とする<br>志願者に対応する体制を構築して<br>いる。また、特別な配慮を要する<br>志願者に対し、学生募集要項や大<br>学公式Webなどに事前相談できる<br>旨を明記し、対応している。                    | A  |
|                                                                               | No. 505 | すべての志願者に対して分かりや<br>すく情報提供しているか。                                                         | 入学者選抜要項及び学生募集要項<br>は大学公式Webで公表しており、<br>すべての志願者に対して分かりや<br>すく情報提供しているほか、建学<br>の精神やAP等、入試に関する詳細<br>な情報をまとめた冊子「LEAP」を<br>毎年作成し、大学公式Webに掲載<br>又は配付している。 | A  |
| ②適切な定員を設定して学生<br>の受け入れを行うとともに、<br>在籍学生数を収容定員に基づ<br>き適正に管理していること。              | No. 506 | 学士課程全体及び各学部・学科並<br>びに各研究科・専攻の入学者数や<br>在籍学生数を適正に維持し、大幅<br>な定員超過や定員未充足の場合に<br>は対策をとっているか。 | 合格者は入学者選抜委員会及び入<br>試委員会で審議している。合格通<br>知発送後に辞退が生じた場合にお<br>いても、3/31までに追加合格者を<br>決定しており、現状で大幅な超過<br>や未充足といった問題はなく、適<br>正な範囲で推移している。                    | A  |

| 評価項目                                          | 評価の視点   |                                                                   | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                                                      |    |
|-----------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                               |         |                                                                   | 現状説明（概要）                                                                                                                                                                                       | 評価 |
| ③学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。 | No. 507 | 学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。 | 入試広報、入試、入学後の学生の分析の3つに分けて定期的に点検・評価を行っており、これまでの結果を踏まえ、令和4年度から医学部入試制度改革について検討しており、令和8年度入学者選抜から施行することとしている。今後も継続的に制度の現状、成果及び課題を適切に把握し、改善に取り組む計画である。                                                | A  |
| ③学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。 | No. 508 | 点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。         | 点検・評価の結果は、入学者選抜が実施された当該年度中に入試関連委員会で審議し、審議結果は次年度に関係部署に引き継いでいる。直近の事例として、オンライン出願システムの導入、オープンキャンパスの内容の大幅な見直しなど、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上を図っている。また、入試運営に携わった教職員による振り返り結果の収集・活用により、入試ミスの防止や入試業務の改善に反映している。 | A  |

【内部質保証推進委員会 所見（抄）】

|                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>&lt;医学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題（B評価）については、記載のとおり改善を進めることが妥当。</li> <li>○ No. 408について、保健医療学部との運用と整合を図るため、協議・検討することが妥当（令和7年度末まで）。</li> <li>○ 大学機関別認証評価評価における指摘事項について、CPに学習成果の評価の在り方を明示するよう検討することが妥当（令和7年度末まで）。</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## (2) 医学研究科

| 評価項目                                                                                | 評価の視点   |                                                                                           | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                                                                                       |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                                                     |         |                                                                                           | 現状説明（概要）                                                                                                                                                                                                                        | 評価 |
| ①達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示していること。                                              | No. 401 | DPにおいて、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、CPにおいて、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。 | 医学研究科の博士課程と修士課程のそれぞれにDPを定め、学生が習得すべき知識、技能、態度等を明示している。また、課程ごとにDPに適切に関連したCPを設定し、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしている。                                                                                                             | A  |
|                                                                                     | No. 402 | 上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。                                                                    | 博士課程・修士課程ともに、人材育成及び教育研究上の目的に関連したDPとなっているため、授与する学位にふさわしいと判断する。                                                                                                                                                                   | A  |
| ②学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。                               | No. 403 | 学習成果の達成につながるよう、CPに沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。                                           | 課程ごとにDPに関連したCPを定め、学習成果の達成に向けて、コースワークとリサーチワークによる体系的な教育課程を編成している。また、文部科学省の「次世代がんプロフェッショナル養成プラン」の採択を受け、博士課程に「がん研究コース」、修士課程に「がん遺伝カウンセリングコース」を設けており、道内の医療系大学の英知を結集し、医療機関とも連携して高度な専門教育を提供することにより、包括的ながん医療を担う次世代のがんプロフェッショナルの養成を行っている。 | A  |
| ③課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。 | No. 404 | 授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及びCPに応じたものであり、期待された効果が得られているか。                     | 各課程の授業形態及び授業方法はCPに応じて設定されており、シラバスには授業科目ごとに授業形態と授業方法を示し、課程修了時に求められる学修成果に対応している。各課程の学位の取得状況に照らし、期待された効果が得られていることを確認している。                                                                                                          | A  |
|                                                                                     | No. 405 | ICTを利用した遠隔授業を提供する場合、自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられているか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られているか。      | e-ラーニングの運用方法などは、教務委員会及び研究科委員会で審議し決定しており、学修管理システムを活用した遠隔授業を推進している。学生に対するe-ラーニングに関するアンケート結果を科目担当者にフィードバックし改善を図っており、より効果的な授業となるよう工夫を講じている。                                                                                         | A  |

| 評価項目                                                                                | 評価の視点   |                                                                             | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                                                    |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                                                     |         |                                                                             | 現状説明（概要）                                                                                                                                                                                     | 評価 |
| ③課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。 | No. 406 | 授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。 | 研究活動の推進と指導体制の充実を図るため、指導教員は学生と十分に打ち合わせを行い、研究指導計画書に基づき、きめ細かな教育指導を実施している。また、履修科目やその他の教育研究活動全般についての指導と助言も行っている。長期履修制度により計画的に学位取得を目指す環境を整備しているほか、シラバス作成ガイドラインに基づくシラバスの作成など、学生の意欲的かつ効果的な学習を支援している。 | A  |
| ④成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っていること。                                                        | No. 407 | 成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。                                          | 成績評価及び単位認定は、規程に定める評価基準及び各科目の到達目標により判定しており、各科目の目標に沿ったアセスメント・マップを作成の上、評価基準を明確化するなどにより、客観的かつ厳格で、公正、公平に実施している。今後は新たに策定した全学的な成績評価に関するガイドラインに基づき、取組を推進する計画である。                                     | A  |
|                                                                                     | No. 408 | 成績評価及び単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。                            | 成績評価及び単位認定に係る基準・手続については、シラバスを通じて学生に明示している。成績疑義などの学生からの不服申立の手続きについては、実施要領を定め、学生がアクセス可能な学内サイトに掲載している。                                                                                          | A  |
|                                                                                     | No. 409 | 既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。                                   | 既修得単位の認定について、研究科委員会の議を経て研究科長が認定することや手続きの手順等を規程に定め、適切に運用している。                                                                                                                                 | A  |
|                                                                                     | No. 410 | 学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。                                                    | 学位授与における実施手続き及び体制については、研究科委員会の議を経ることなどを規程に明確に定めて運用している。                                                                                                                                      | A  |
|                                                                                     | No. 411 | DPに則して、適切に学位を授与しているか。                                                       | 学位授与に係る実施手続きや体制を整備の上、研究科の教育方針やDPに基づき適切に実施している。                                                                                                                                               | A  |

| 評価項目                                               | 評価の視点   |                                                                                  | 自己点検・評価結果                                                                                                                                             |    |
|----------------------------------------------------|---------|----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                    |         |                                                                                  | 現状説明（概要）                                                                                                                                              | 評価 |
| ⑤学位授与方針（DP）に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。           | No. 412 | 学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。                                            | 学修成果を把握・評価する目的や指標、方法等についての考えを明確にするため、全学及び研究科のそれぞれに3ポリシーを策定し、これらのポリシーに基づき、教育評価の方針（アセスメント・ポリシー）を定めている。                                                  | A  |
|                                                    | No. 413 | 学習成果を把握・評価する指標や方法は、DPに定めた学習成果に照らして適切なものか。                                        | 学習成果を把握・評価する指標や方法に関し、適切な運用に努める一方で、各課程のアセスメント・ポリシーの見直しやアセスメント・リストの追加により、DPと学修成果の関連を明確化する必要があると認識しており、令和7年度末までに改善を図る計画である。                              | B  |
|                                                    | No. 414 | 指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、大学として設定する目的に応じた活用を図っているか。                                | 指標や方法を適切に用いた学習成果の把握・評価に関し、各課程のアセスメント・ポリシーに基づく学修成果とDPとの整合性を高めるため、令和7年度末までにアセスメント・プランの見直しなどの改善に取り組む計画である。                                               | B  |
| ⑥教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。 | No. 415 | 教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。                           | 令和6年度から新たな内部質保証体制下での運用を開始しており、自己点検・評価の体制、方法及び周期等を規程に定め、大学公式Webにも掲載している。                                                                               | A  |
|                                                    | No. 416 | 課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。 | 指導教員が研究指導計画書に基づき教育指導を行っており、研究や学位論文の作成指導に加え、履修科目やその他の教育研究活動全般についても指導・助言を行っている。DPの達成度に係る評価について、今後、学生に対する修了時の自己評価アンケートの結果を用いて、教育の課程、内容等の改善・向上に取り組む計画である。 | A  |
|                                                    | No. 417 | 外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高めるための工夫を行っているか。                                 | 自己点検・評価の客観性を高めるため、学生を対象とした授業評価アンケートを実施しており、調査結果を検証の上、教育内容の改善に役立てている。                                                                                  | A  |
|                                                    | No. 418 | 自己点検・評価の結果を活用し、教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。                                   | 学生を対象とした授業評価アンケートを実施しており、調査結果を関係の教員及び委員会にフィードバックし、定期的に教育内容の見直しや課題を共有する機会を設けている。                                                                       | A  |

| 評価項目                                                                                | 評価の視点   |                                                                                         | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                                             |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                                                     |         |                                                                                         | 現状説明（概要）                                                                                                                                                                              | 評価 |
| ①学生の受け入れ方針（AP）に基づき、学生募集及び入学<br>者選抜の制度や運営体制を適<br>切に整備し、入学者選抜を公<br>平、公正に実施しているこ<br>と。 | No. 501 | APは、少なくとも学位課程ごと<br>（学士課程・修士課程・博士課<br>程・専門職学位課程）に設定して<br>いるか。                            | 医学研究科では、課程ごとにAPを<br>設定しており、大学公式Webや学<br>生募集要項にも掲載している                                                                                                                                 | A  |
|                                                                                     | No. 502 | APは、入学前の学習歴、学力水<br>準、能力等の求める学生像や、入<br>学希望者に求める水準等の判定方<br>法を志願者等に理解しやすく示し<br>ているか。       | 課程ごとに定めるAPに、求める学<br>生像、入学までに学習しておくこ<br>とが期待される内容を志願者に分<br>かりやすく明示している。また、<br>入学者に求める資質・能力につい<br>て、学生募集要項及び大学公式<br>Webに掲載している。                                                         | A  |
|                                                                                     | No. 503 | APに沿い、適切な体制・仕組みを<br>構築して入学者選抜を公平、公正<br>に実施しているか。                                        | 入学者選抜を適切に実施するた<br>め、関係規程に基づき、医学研究<br>科の過程ごとに入試委員会を設置<br>しており、APに沿い選抜の方針、<br>方法及び体制を検討し決定の上、<br>公平、公正な試験を実施してい<br>る。                                                                   | A  |
|                                                                                     | No. 504 | 入学者選抜にあたり特別な配慮を<br>必要とする志願者に対応する仕組<br>みを整備しているか。                                        | 関係規程を整備の上、入学者選抜<br>にあたり特別な配慮を必要とする<br>志願者に対応する体制を構築して<br>いる。また、特別な配慮を要する<br>志願者に対し、学生募集要項や大<br>学公式Webなどに事前相談できる<br>旨を明記し、対応している。                                                      | A  |
|                                                                                     | No. 505 | すべての志願者に対して分かりや<br>すく情報提供しているか。                                                         | 希望者に学生募集要項の冊子を配<br>付するほか、大学公式Webで公表<br>し、すべての志願者に対して分か<br>りやすく情報提供している。                                                                                                               | A  |
| ②適切な定員を設定して学生<br>の受け入れを行うとともに、<br>在籍学生数を収容定員に基づ<br>き適正に管理していること。                    | No. 506 | 学士課程全体及び各学部・学科並<br>びに各研究科・専攻の入学者数や<br>在籍学生数を適正に維持し、大幅<br>な定員超過や定員未充足の場合に<br>は対策をとっているか。 | 関係規程に基づき、課程ごとの入<br>学者及び在籍学生数の適正な管理<br>に努める一方で、修士課程の充足<br>率が低減している。対応策とし<br>て、現状分析や方略の検討を行う<br>ワーキンググループの設置やオン<br>ライン授業の拡充による学修環境<br>の利便性向上などの改善活動を進<br>めており、今後も、継続的に改善<br>に取り組む計画である。 | B  |
| ③学生の受け入れに関わる状<br>況を定期的に点検・評価し、<br>改善・向上に向けて取り組ん<br>でいること。                           | No. 507 | 学生の受け入れに関わる事項を定<br>期的に点検・評価し、当該事項に<br>おける現状や成果が上がっている<br>取り組み及び課題を適切に把握し<br>ているか。       | 学生の受入に関する事項につい<br>て、医学研究科では、研究科委員<br>会が中心となり、課題の共有や改<br>善の働きかけを行っている。各課<br>程及びMD-PhDプログラムに係る入<br>試の適切性は各々の入試委員会で<br>審議しており、今後も成果及び課<br>題を適切に把握できるよう取組を<br>推進していく計画である。                | A  |
| ③学生の受け入れに関わる状<br>況を定期的に点検・評価し、<br>改善・向上に向けて取り組ん<br>でいること。                           | No. 508 | 点検・評価の結果を活用して、学<br>生の受け入れに関わる事項の改<br>善・向上に取り組み、効果的な取<br>組みへとつなげているか。                    | 修士課程においては、入学者獲得<br>に向けたワーキンググループを設<br>置し、定員割れの現状分析や入学<br>者獲得の方略の検討に着手しており、また、オンライン授業の整備<br>を進めるなど、学生の受け入れに<br>関わる事項の改善・向上を図って<br>いる。                                                  | A  |

【内部質保証推進委員会 所見（抄）】

<医学研究科>

- 課題（B評価）については、記載のとおり改善を進めることが妥当。

(3) 保健医療学部

| 評価項目                                                  | 評価の視点   |                                                                                           | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                                                                                                                               |    |
|-------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                       |         |                                                                                           | 現状説明（概要）                                                                                                                                                                                                                                                                | 評価 |
| ①達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示していること。                | No. 401 | DPにおいて、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、CPにおいて、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。 | 大学の建学の精神を踏まえた教育目標に沿い、学部DPの学修成果を定めている。各学科のDPは学科の専門性を考慮しつつ学部DPとの整合を図り、学力の三要素を含めた学修成果を明示している。また、学部CPには、学部DPを達成するための学科共通の教育内容・教育方法・学修成果の評価についての基本事項を明確にしており、各学科のCPは各学科のDPで示す学修成果を身につけた人材を育成するため、学部のDP及びCPとの整合性を確保している。一方で、各DPと各CPの関連性をより明確にする必要があると認識しており、令和7年度に検討を行う計画である。 | B  |
|                                                       | No. 402 | 上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。                                                                    | 学士の学位授与の要件は規程に定めており、各学科ごとにDPを定めている。また、各学科のDPには教育目標との関連を意識した複数の学修成果を掲げており、授与する学位に相応しいと判断する。                                                                                                                                                                              | A  |
| ②学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。 | No. 403 | 学習成果の達成につながるよう、CPに沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。                                           | 学部共通のDP及びCPを策定し、各分野に求められる具体的内容については、学科ごとのDP・CPに記載している。教育課程はDP及びCPに基づく教育課程編成・実施方針に沿って体系的に編成されており、授業科目の体系性と履修の順次性を示すための教育過程科目の年次配置表やDPの学修成果と授業科目の関連付けを行うための関連図等も策定している。一方で、カリキュラム・マップの見直しやカリキュラム・ツリーの策定に向けた検討を進める必要があると認識しており、令和7年度中に検討の上、改善を図る計画である。                     | B  |

| 評価項目                                                                                | 評価の視点   |                                                                                      | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                                                                                          |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                                                     |         |                                                                                      | 現状説明（概要）                                                                                                                                                                                                                           | 評価 |
| ③課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。 | No. 404 | 授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及びCPに応じたものであり、期待された効果が得られているか。                | 授業形態、授業方法を定めた規程等に基づき、講義、演習、実験及び実習等を行っている。2020年度カリキュラムから能動的学修を積極的に取り入れ、主体的に学習に取り組む姿勢と自己学習力の涵養に努めており、2023年度に実施した調査結果からは、多くの学生から能動的学修が到達目標の達成に効果的との回答があり、期待された効果が得られていることを確認している。                                                     | A  |
|                                                                                     | No. 405 | ICTを利用した遠隔授業を提供する場合、自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられているか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られているか。 | 保健医療学部では、ICTを利用した遠隔授業を提供する場合の方針を定めており、2021年度から運用しているが、面接授業を基本としている。そのため、実績が少なく、また、全授業に占める割合が非常に低いことから、ICTを利用した授業に特化した授業評価は実施していない。                                                                                                 | A  |
|                                                                                     | No. 406 | 授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。          | 学習状況に合わせたクラス分けなどは実施せずに講義や演習の中で必要に応じて個別に指導・対応を行っている。また、障がいのある学生に対し、学生本人からの申し出や日々の生活状況・学習状況に照らし、適切な支援を行う体制を整えている。このほか、各学科には学生担当教員や副学生担当教員等を配置し、定期的な個人面談や、必要に応じて学年全体又は個人に対して履修指導や面談を行うほか、シラバス作成ガイドラインに基づくシラバスの作成など、意欲的に学習できるよう支援している。 | A  |

| 評価項目                                     | 評価の視点   |                                                  | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                                                               |    |
|------------------------------------------|---------|--------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                          |         |                                                  | 現状説明（概要）                                                                                                                                                                                                | 評価 |
| ④成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っていること。             | No. 407 | 成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。               | 成績評価及び単位認定について、関係規程に明確に定めており、客観的かつ厳格で、公正、公平に実施している。今後は新たに策定した全学的な成績評価に関するガイドラインに基づき、取組を推進する計画である。                                                                                                       | A  |
|                                          | No. 408 | 成績評価及び単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。 | 成績評価及び単位認定のための評価は、関係規程に明確に定めており、成績評価の対象と方法はシラバスに明示している。また、成績疑義など学生からの不服申立の手続きを規定しており、学生便覧に明示している。一方で、全学の疑義申し立て制度を俯瞰した場合、実施要領等が統一されておらず、学部合同の授業等での混乱が懸念される。整合性のある制度となるよう、令和7年度中に医学部と協議し検討を行う計画である。       | B  |
|                                          | No. 409 | 既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。        | 既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定については、教授会の議を経て学部長が認定することや、手続きの手順及び対象となる実践的能力等についても規程に定め、適切に運用している。                                                                                                         | A  |
|                                          | No. 410 | 学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。                         | 学位授与における実施手続き及び体制については、教授会の議を経ることなどを規程に明確に定めて運用している。                                                                                                                                                    | A  |
|                                          | No. 411 | DPに則して、適切に学位を授与しているか。                            | 学位授与に係る実施手続きや体制を整備の上、学部の教育方針やDPに基づき、適切に実施している。                                                                                                                                                          | A  |
| ⑤学位授与方針（DP）に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。 | No. 412 | 学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。            | 学修成果を把握・評価する目的や指標、方法等についての考えを明確にするため、全学及び学部のそれぞれに3ポリシーを策定し、これらのポリシーに基づき、教育評価の方針（アセスメント・ポリシー）を定めている。また、DPに掲げる能力・資質の習得状況を把握することを目的として、アセスメント・リストを策定し導入している。これらのポリシー等は教授会を通じて周知・共有しており、大学公式Webにおいても公開している。 | A  |
|                                          | No. 413 | 学習成果を把握・評価する指標や方法は、DPに定めた学習成果に照らして適切なものか。        | アセスメント・ポリシーに則り、学修成果を把握・評価する指標や方法として、直接評価及び間接評価の観点を含めた多面的な評価指標を用いてDPの全項目を把握している。                                                                                                                         | S  |

| 評価項目                                               | 評価の視点  |                                                                                  | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |
|----------------------------------------------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                    |        |                                                                                  | 現状説明（概要）                                                                                                                                                                                                                                                                     | 評価 |
| ⑤学位授与方針（DP）に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。           | No.414 | 指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、大学として設定する目的に応じた活用を図っているか。                                | 毎年、ルーブリック評価やOSCE評価等で把握した成績・評価を関係委員会及び教授会に報告し、課題や問題点を集約し周知・共有の上、授業レベル・教育課程レベルのそれぞれで実施する改善活動に繋げている。一方で、授業評価アンケートや在学生調査等の調査結果が効率的に共有されていないこと、また、GPAの実運用に課題があると認識しており、全学レベルでの効率的なデータ共有方法の検討やGPAを活用した学修到達レベルの評価について、令和7年度中に調査実施主体に検討又は学部内で改善を図る計画である。                             | B  |
| ⑥教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。 | No.415 | 教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。                           | 令和6年度から新たな内部質保証体制下での運用を開始しており、自己点検・評価の体制、方法及び周期等を規程に定め、大学公式Webにも掲載している。                                                                                                                                                                                                      | A  |
|                                                    | No.416 | 課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。 | アセスメント・ポリシー、アセスメント・リストを設定し、学修成果の修得状況及び教育全般に対する評価・検証を行っており、科目や授業内容に応じてルーブリック評価を実施している。また、IR推進センターにおいて新入生・在学生・卒業生を対象とした各種の調査を実施しており、調査結果を基に教学IRデータブックを発刊するなど、情報の収集・分析に取り組んでいる。一方で、授業評価アンケートの回収率の改善や、自己点検・評価に関するデータに学部の教員が適時にアクセスできない点は課題と認識しており、令和7年度中に調査実施主体に検討・改善を要請する計画である。 | B  |
|                                                    | No.417 | 外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高めるための工夫を行っているか。                                 | 学生や行政機関・医療機関及び教育機関等の関係者の外部者が委員会へ参加の上、議論に加わる体制を整えているほか、保健医療学部カリキュラム委員会では、学生を対象としてカリキュラム調査を毎年実施している。IR推進センターにおいては、新入生と在校生を対象とした調査を毎年実施している。このほか、每期実施される授業評価アンケートや、学生から幅広い意見等を聴く機会として学生支援会議を毎年開催している。                                                                           | A  |
|                                                    | No.418 | 自己点検・評価の結果を活用し、教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。                                   | 教育の課程、内容及び方法に関し、保健医療学部カリキュラム委員会で点検・評価を行い、各学科と連携し改善に取り組んでいる。                                                                                                                                                                                                                  | A  |

| 評価項目                                                                                | 評価の視点   |                                                                                         | 自己点検・評価結果                                                                                                                                           |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                                                     |         |                                                                                         | 現状説明（概要）                                                                                                                                            | 評価 |
| ①学生の受け入れ方針（AP）に基づき、学生募集及び入学<br>者選抜の制度や運営体制を適<br>切に整備し、入学者選抜を公<br>平、公正に実施しているこ<br>と。 | No. 501 | APIは、少なくとも学位課程ごと<br>（学士課程・修士課程・博士課<br>程・専門職学位課程）に設定して<br>いるか。                           | 学部の看護学科、理学療法学科、<br>作業療法学科のそれぞれにAPを設<br>定している。                                                                                                       | A  |
|                                                                                     | No. 502 | APIは、入学前の学習歴、学力水<br>準、能力等の求める学生像や、入<br>学希望者に求める水準等の判定方<br>法を志願者等に理解しやすく示し<br>ているか。      | APIには、入学前の学習歴、学力水<br>準、能力等の求める学生像や、入<br>学希望者に求める水準等の判定方<br>法を志願者に理解しやすく示して<br>いる。また、入学者に求める資<br>質・能力について、入学者選抜要<br>項、学生募集要項及び大学公式<br>Webに掲載している。    | A  |
|                                                                                     | No. 503 | APIに沿い、適切な体制・仕組みを<br>構築して入学者選抜を公平、公正<br>に実施しているか。                                       | 入試委員会の下に複数の委員会を<br>設置し、相互の連携・協力体制を<br>確保した上で、APIに沿った入学<br>者選抜を公平、公正に実施してい<br>る。                                                                     | A  |
|                                                                                     | No. 504 | 入学者選抜にあたり特別な配慮を<br>必要とする志願者に対応する仕組<br>みを整備しているか。                                        | 関係規程を整備の上、入学者選抜<br>にあたり特別な配慮を必要とする<br>志願者に対応する体制を構築して<br>いる。また、特別な配慮を要する<br>志願者に対し、学生募集要項や大<br>学公式Webなどに事前相談できる<br>旨を明記し、対応している。                    | A  |
|                                                                                     | No. 505 | すべての志願者に対して分かりや<br>すく情報提供しているか。                                                         | 入学者選抜要項及び学生募集要項<br>は大学公式Webで公表しており、<br>すべての志願者に対して分かりや<br>すく情報提供しているほか、建学<br>の精神やAP等、入試に関する詳細<br>な情報をまとめた冊子「LEAP」を<br>毎年作成し、大学公式Webに掲載<br>又は配付している。 | A  |
| ②適切な定員を設定して学生<br>の受け入れを行うとともに、<br>在籍学生数を収容定員に基づ<br>き適正に管理していること。                    | No. 506 | 学士課程全体及び各学部・学科並<br>びに各研究科・専攻の入学者数や<br>在籍学生数を適正に維持し、大幅<br>な定員超過や定員未充足の場合に<br>は対策をとっているか。 | 合格者は入学者選抜委員会及び入<br>試委員会で審議している。合格通<br>知発送後に辞退が生じた場合にお<br>いても、3/31までに追加合格者を<br>決定しており、現状で大幅な超過<br>や未充足といった問題はなく、適<br>正な範囲で推移している。                    | S  |

| 評価項目                                          | 評価の視点   |                                                                   | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                                                                                                      |    |
|-----------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                               |         |                                                                   | 現状説明（概要）                                                                                                                                                                                                                                       | 評価 |
| ③学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。 | No. 507 | 学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。 | 学部学生の受け入れに関する事項の点検・評価は入試広報、入試、入学後の学生の分析の3つに所掌を分け、それぞれを所掌する委員会などで効果や課題を把握する体制を整えている。今後、少子化により学生数の減少が懸念されるが、本学のAPに適う学生を安定的に確保するため、保健医療学部入試制度改革ワーキンググループを設置し、出願者の安定的な確保に向けた取組に着手している。一方で、APの検証の観点から、入試を点検・評価していくための体制整備が必要と認識しており、今後検討を開始する計画である。 | B  |
| ③学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。 | No. 508 | 点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取り組みへとつなげているか。         | 点検・評価の結果は、入学者選抜が実施された当該年度中に入試関連委員会で審議し、審議結果は次年度に係る部署に引き継いでいる。直近の事例として、オンライン出願システムの導入、オープンキャンパスの内容の大幅な見直しなど、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上を図っている。また、入試運営に携わった教職員による振り返り結果の収集・活用により、入試ミスの防止や入試業務の改善に反映している。                                                 | S  |

#### 【内部質保証推進委員会 所見（抄）】

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>&lt;保健医療学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題（B評価）については、記載のとおり改善を進めることが妥当。</li> <li>○ No. 408について、学部間の運用の整合を図るため、医学部と協議・検討することが妥当（令和7年度末まで）。</li> <li>○ No. 414及びNo. 416に記載の「授業評価アンケートや在学生調査等の調査結果の効率的なデータ共有方法」「学部教員によるデータへの適時のアクセス方法」については、教育評価検討小委員会及び統合IRセンターにおいて検討することが妥当（令和7年度末まで）。</li> <li>○ No. 416に記載の「授業評価アンケートの回収率の改善」については、教育評価検討小委員会において改善方法を検討し、結論を得ることが妥当（令和7年度末まで）。</li> </ul> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(4) 保健医療学研究科

| 評価項目                                                                                | 評価の視点   |                                                                                           | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                                               |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                                                     |         |                                                                                           | 現状説明（概要）                                                                                                                                                                                | 評価 |
| ①達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示していること。                                              | No. 401 | DPにおいて、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、CPにおいて、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。 | 保健医療学研究科の専攻・課程のそれぞれにDPを定め、学生が習得すべき知識、技能、態度等を明示している。また、専攻・課程ごとにDPに適切に関連したCPを設定し、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしている。                                                                   | A  |
|                                                                                     | No. 402 | 上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。                                                                    | 各専攻・課程ともに、人材育成の目的及び教育研究上の目的に関連したDPとなっているため、授与する学位にふさわしいと判断する。                                                                                                                           | A  |
| ②学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。                               | No. 403 | 学習成果の達成につながるよう、CPに沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。                                           | 課程・専攻ごとにDPに関連したCPを定めるとともに、学習成果の達成に向けて、順次性のある授業科目の配置に配慮した上でコースワークとリサーチワークを適切に組み合わせ、体系的な教育課程を編成している。                                                                                      | A  |
| ③課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。 | No. 404 | 授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及びCPに応じたものであり、期待された効果が得られているか。                     | 保健医療学研究科の教育理念・教育目標の下、各課程・専攻のCPに応じて授業形態と授業方法は設定され、シラバスには授業科目ごとに授業形態と授業方法を示し、課程修了時に求められる学修成果に対応している。博士課程前期・後期において実施しているアンケート調査では、修了生の7割以上が知識・能力を概ね修得している旨を回答しており、期待された効果が得られていることを確認している。 | A  |
|                                                                                     | No. 405 | ICTを利用した遠隔授業を提供する場合、自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられているか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られているか。      | 保健医療学研究科では、関係規程に基づき、遠隔授業を導入している。学生に対し、遠隔授業に関する満足度調査を毎年行っており、就業と学業の両立の観点から回答者の多くは遠隔授業を効果的に利用していることを把握している。一方で、議論を主体とする授業では対面形式が望ましいとの意見もあり、遠隔授業の効果的な活用方法を検討し、令和7年度中に新たな方針を策定する計画である。     | B  |

| 評価項目                                                                                | 評価の視点   |                                                                             | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                                                              |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                                                     |         |                                                                             | 現状説明（概要）                                                                                                                                                                                               | 評価 |
| ③課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。 | No. 406 | 授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。 | 学生の多様性を踏まえ、長期履修制度を導入しており、学習や研究を推進するために指導教員の配置やシラバス作成ガイドラインに基づくシラバスの作成など、着実な学位取得に資する指導体制を構築している。一方で、研究指導計画書について、専門領域が多様なゆえに履修パターンも異なるため、各専門領域に応じた効果的な指導計画をイメージ化できるモデルの作成が必要と認識しており、令和7年度から検討を開始する計画である。 | B  |
| ④成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っていること。                                                        | No. 407 | 成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。                                          | 成績評価及び単位認定は、規程に定める評価基準及び各科目の到達目標により判定しており、各科目の目標に沿ったアセスメント・マップを作成の上、評価基準を明確化するなどにより、客観的かつ厳格で、公正、公平に実施している。今後は新たに策定した全学的な成績評価に関するガイドラインに基づき、取組を推進する計画である。                                               | A  |
|                                                                                     | No. 408 | 成績評価及び単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。                            | 成績評価の方法と基準はシラバスを通じて学生に明示している。学生からの不服申立の手続きについては、実施要領を定めている。                                                                                                                                            | A  |
|                                                                                     | No. 409 | 既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。                                   | 既修得単位の認定について、研究科委員会の議を経て研究科長が認定することや手続きの手順等を規程に定め、適切に運用している。                                                                                                                                           | A  |
|                                                                                     | No. 410 | 学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。                                                    | 学位授与における実施手続及び体制については、研究科委員会の議を経ることなどを規程に明確に定めて運用している。                                                                                                                                                 | A  |
|                                                                                     | No. 411 | DPに則して、適切に学位を授与しているか。                                                       | 学位授与に係る実施手続きや体制を整備の上、研究科の教育方針やDPに基づき、適切に実施している。                                                                                                                                                        | A  |

| 評価項目                                               | 評価の視点   |                                                                                  | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                                 |    |
|----------------------------------------------------|---------|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                    |         |                                                                                  | 現状説明（概要）                                                                                                                                                                  | 評価 |
| ⑤学位授与方針（DP）に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。           | No. 412 | 学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。                                            | 学修成果を把握・評価する目的や指標、方法等についての考えを明確にするため、全学及び研究科のそれぞれに3ポリシーを策定し、これらのポリシーに基づき、教育評価の方針（アセスメント・ポリシー）を定めている。一方で、CPの中に学修成果の評価方針を定める必要があることを認識しており、令和7年度に改善を図る計画である。                | B  |
|                                                    | No. 413 | 学習成果を把握・評価する指標や方法は、DPに定めた学習成果に照らして適切なものか。                                        | 学習成果を把握・評価する指標・方法として、ルーブリック評価、授業評価及び修了時アンケート等、多面的な評価指標を用いてDPの達成状況を把握している。                                                                                                 | A  |
| ⑤学位授与方針（DP）に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。           | No. 414 | 指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、大学として設定する目的に応じた活用を図っているか。                                | 学習成果を評価するためのアセスメント・ポリシーを策定しており、教務委員会がDPに示された学修成果の修得状況及び教育課程に関する評価・検証を行っている。                                                                                               | A  |
| ⑥教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。 | No. 415 | 教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。                           | 複数の委員会において、アセスメント・ポリシーやアセスメント・リストに照らし、学修成果の修得状況及び教育課程に関する評価・検証を定期的に実施しており、その結果を教育の改善・向上に反映している。また、令和6年度から新たな内部質保証体制下での運用を開始しており、自己点検・評価の体制、方法及び周期等を規程に定め、大学公式Webにも掲載している。 | A  |
|                                                    | No. 416 | 課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。 | 課程修了時には、アセスメント・リストに則り、学生によるDPの達成度の自己評価に係る評価を実施している。また、大学院生の学位論文審査を開催し、研究活動の進捗状況や内容の精査を行うなど、多面的な評価の結果を用いて教育課程及びその内容等の改善・向上に取り組んでいる。                                        | A  |
|                                                    | No. 417 | 外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高めるための工夫を行っているか。                                 | 令和6年度から、研究科長、専攻代表と学生による懇談会を開催し、学生からの意見を直接聴取する機会を設けているほか、年2回授業評価アンケートを実施している。                                                                                              | A  |
|                                                    | No. 418 | 自己点検・評価の結果を活用し、教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。                                   | 自己点検・評価の結果を活用した教育課程等の改善・向上の取組について、複数の委員会で連携し取り組んでいる。一方で、授業評価アンケートの回収率が低いことが課題と認識しており、令和7年度に回収率を高める方策を検討し、改善に取り組む計画である。                                                    | B  |

| 評価項目                                                                                | 評価の視点   |                                                                                         | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                                                                                                                                           |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                                                     |         |                                                                                         | 現状説明（概要）                                                                                                                                                                                                                                                                            | 評価 |
| ①学生の受け入れ方針（AP）に基づき、学生募集及び入学<br>者選抜の制度や運営体制を適<br>切に整備し、入学者選抜を公<br>平、公正に実施しているこ<br>と。 | No. 501 | APIは、少なくとも学位課程ごと<br>（学士課程・修士課程・博士課<br>程・専門職学位課程）に設定して<br>いるか。                           | 保健医療学研究科では、課程ごと<br>にAPを設定しており、大学公式<br>Webや学生募集要項にも掲載して<br>いる。                                                                                                                                                                                                                       | A  |
|                                                                                     | No. 502 | APIは、入学前の学習歴、学力水<br>準、能力等の求める学生像や、入<br>学希望者に求める水準等の判定方<br>法を志願者等に理解しやすく示し<br>ているか。      | 課程ごとに定めるAPIに、求める学<br>生像、入学までに学習しておくこ<br>とが期待される内容を志願者に分<br>かりやすく明示している。また、<br>入学者に求める資質・能力につい<br>て、学生募集要項及び大学公式<br>Web等に掲載している。一方で、<br>令和8年度入試から予定する入学<br>者選抜に関する情報の公表方法に<br>ついて、令和7年度中に関係委員<br>会で検討の上、準備を進める計画<br>である。                                                             | B  |
|                                                                                     | No. 503 | APIに沿い、適切な体制・仕組みを<br>構築して入学者選抜を公平、公正<br>に実施しているか。                                       | 入学者選抜を適切に実施するた<br>め、関係規程に基づき、保健医療<br>学研究科に入試委員会を設置して<br>おり、APIに沿い選抜の方針、方法<br>及び体制を検討し決定の上、公<br>平、公正な試験を実施している。                                                                                                                                                                      | A  |
|                                                                                     | No. 504 | 入学者選抜にあたり特別な配慮を<br>必要とする志願者に対応する仕組<br>みを整備しているか。                                        | 関係規程を整備の上、入学者選抜<br>にあたり特別な配慮を必要とする<br>志願者に対応する体制を構築して<br>いる。また、特別な配慮を要する<br>志願者に対し、学生募集要項や大<br>学公式Webなどに事前相談できる<br>旨を明記し、対応している。                                                                                                                                                    | A  |
|                                                                                     | No. 505 | すべての志願者に対して分かりや<br>すく情報提供しているか。                                                         | 希望者に学生募集要項の冊子を配<br>付するほか、大学公式Webで公表<br>し、すべての志願者に対して分か<br>りやすく情報提供している。ま<br>た、大学院説明会を開催し、志願<br>者に直接説明する機会を設けてい<br>る。                                                                                                                                                                | A  |
| ②適切な定員を設定して学生<br>の受け入れを行うとともに、<br>在籍学生数を収容定員に基づ<br>き適正に管理していること。                    | No. 506 | 学士課程全体及び各学部・学科並<br>びに各研究科・専攻の入学者数や<br>在籍学生数を適正に維持し、大幅<br>な定員超過や定員未充足の場合に<br>は対策をとっているか。 | 教務委員会において、入学者数や<br>在籍学生数の適正な維持に資する<br>ため、学生への指導・支援の体制<br>や教育資源が適切であるかを確認<br>している。一方で、看護学専攻の<br>博士課程前期において、定員充足<br>率の低減が見られている。対応策<br>として、就業と学業の両立の観点<br>から、研究科教務委員会で現状分<br>析や方略の検討を行うワーキング<br>グループの設置や、オンライン授<br>業の拡充により学修環境の利便性<br>を高めるなどの改善活動を進めて<br>おり、今後も、継続的に改善に取<br>り組む計画である。 | B  |

| 評価項目                                          | 評価の視点   |                                                                   | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                                                                                                  |    |
|-----------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                               |         |                                                                   | 現状説明（概要）                                                                                                                                                                                                                                   | 評価 |
| ③学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。 | No. 507 | 学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。 | 入学者選抜の内容や方法について、入学者選抜に係る様々なデータを基に、関係委員会で毎年度検証を行い、改善に取り組んでいる。また、試験問題についての質、量及び適切性を検討するプロセスを確立している。                                                                                                                                          | A  |
| ③学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。 | No. 508 | 点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取り組みへとつなげているか。         | 学生の受け入れ状況に関する検証・改善に当たっては、関係の会議・委員会において、毎年、入学後の成績やアンケート等の追跡調査の分析結果を用いて課題を明らかにし改善に取り組んでいる。また、入学者は就業している学生が多く、学業との両立に配慮し、入学後の生活をイメージできるようQ&A集を作成の上、大学公式Webに公開している。一方で、入学試験の検証結果を踏まえ、外国語（英語）試験の取扱いの検討に着手しており、令和7年度中に課題を改善すべく入試委員会等で議論を行う計画である。 | B  |

【内部質保証推進委員会 所見（抄）】

|                                                                  |
|------------------------------------------------------------------|
| <p>&lt;保健医療学研究科&gt;</p> <p>○ 課題（B評価）については、記載のとおり改善を進めることが妥当。</p> |
|------------------------------------------------------------------|

(5) 専攻科

| 評価項目                                                                                | 評価の視点   |                                                                                           | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                         |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                                                     |         |                                                                                           | 現状説明（概要）                                                                                                                                                          | 評価 |
| ①達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示していること。                                              | No. 401 | DPにおいて、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、CPにおいて、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。 | 公衆衛生看護学専攻及び助産学専攻のそれぞれで求められる知識、技能、態度等の学修成果を明らかにしている。また、CPにおいても、両専攻ともに学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしている。                                                        | A  |
|                                                                                     | No. 402 | 上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。                                                                    | 修了の要件は規程に定めており、各学科ごとにDPを定めており、両専攻科の高い専門性と実践力を備えた者に修了書が授与されることから、授与する学位に相応しいと判断する。                                                                                 | A  |
| ②学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。                               | No. 403 | 学習成果の達成につながるよう、CPに沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。                                           | 各専攻においては、学修成果の達成、それぞれの職における専門性と実践力を涵養するため、CPに沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成している。一方で、各専攻の専門性・特殊性ゆえに、科目の配置時期の検討や講義・演習のさらなる充実を図る必要があると認識しており、令和7年度中に改善をに取り組む計画である。          | B  |
| ③課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。 | No. 404 | 授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及びCPに応じたものであり、期待された効果が得られているか。                     | 専攻科では、授業形態、授業方法を定めた規程等に基づき、科目の特性に応じた効果的な教育を実施している。学習成果は国家試験合格率や修了時調査から、期待された効果が得られていることを確認している。                                                                   | A  |
|                                                                                     | No. 405 | ICTを利用した遠隔授業を提供する場合、自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられているか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られているか。      | 専攻科では、ICTを利用した遠隔授業についての申し合わせを定め2022年度から運用しているが、面接授業を基本としているが、直近では遠隔授業を実施していない。                                                                                    | A  |
|                                                                                     | No. 406 | 授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。               | 各専攻の定員は15名であり、授業科目は保健師又は助産師の国家試験受験資格を得るためにすべて必修としている。少人数制の教育体制により、学生一人ひとりの理解度やキャリアを尊重した指導に努めている。また、シラバスに示した内容や方法と実際の授業との整合について、「授業アンケート」及び「修了時調査」の質問項目を通じて確認している。 | A  |

| 評価項目                                     | 評価の視点   |                                                   | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                  |    |
|------------------------------------------|---------|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                          |         |                                                   | 現状説明（概要）                                                                                                                                                   | 評価 |
| ④成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っていること。             | No. 407 | 成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。                | 成績評価及び単位認定について、関係規程に明確に定めており、客観的かつ厳格で、公正、公平に実施している。今後は新たに策定した全学的な成績評価に関するガイドラインに基づき、取組を推進する計画である。                                                          | A  |
|                                          | No. 408 | 成績評価及び単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。  | 成績評価の方法と基準及び成績評価に対する学生からの疑義申立の手続きについては、「学修の手引き」に明示している。                                                                                                    | A  |
|                                          | No. 409 | 既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。         | 自己点検・評価の対象外（専攻科の授業科目はすべて必修であり、教養教育、専門教育に関連した実践的な能力を修得している者に対する単位の認定は実施していない）                                                                               | A  |
|                                          | No. 410 | 学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。                          | 学位授与における実施手続及び体制については、専攻科委員会の議を経ることなどを規程に明確に定めて運用している。                                                                                                     | A  |
|                                          | No. 411 | DPに則して、適切に学位を授与しているか。                             | 学位授与に係る実施手続や体制を整備の上、教育方針やDPに基づき、適切に実施している。                                                                                                                 | A  |
| ⑤学位授与方針（DP）に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。 | No. 412 | 学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。             | 学修成果を把握・評価する目的、指標及び方法等についての考えを明確にするため、3ポリシーを策定し、これらのポリシーに基づき、教育評価の方針（アセスメント・ポリシー）及びアセスメント・リストを定めている。一方で、CPの中に学修成果の評価方針を定める必要があることを認識しており、令和7年度に改善を図る計画である。 | B  |
|                                          | No. 413 | 学習成果を把握・評価する指標や方法は、DPに定めた学習成果に照らして適切なものか。         | DPに対応させた臨床・臨地実践能力評価を作成・活用している。また、臨床・臨地実践能力評価については、両専攻教員により保健師・助産師に求められる能力を検討し作成している。                                                                       | A  |
| ⑤学位授与方針（DP）に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。 | No. 414 | 指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、大学として設定する目的に応じた活用を図っているか。 | 全学的に行っている「授業評価アンケート」「修了生・雇用者調査」はもとより、特に臨床・臨地実践能力評価、修了時調査を毎年行うことにより、多角的に教育内容の実施状況や習得状況を評価している。また、得られた結果は次年度の改善活動に適時に反映している。                                 | A  |

| 評価項目                                               | 評価の視点   |                                                                                  | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                |    |
|----------------------------------------------------|---------|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                    |         |                                                                                  | 現状説明（概要）                                                                                                                                                 | 評価 |
| ⑥教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。 | No. 415 | 教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。                           | 教育課程及びその内容・方法の適切性について、アセスメント・ポリシーに自己点検・評価に係る事項を規定の上、定期的に点検・評価及び改善に向けた取組を行っている。また、令和6年度から新たな内部質保証体制下での運用を開始しており、自己点検・評価の体制、方法及び周期等を規程に定め、大学公式Webにも掲載している。 | A  |
|                                                    | No. 416 | 課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。 | 教育課程及びその内容、教育方法の点検・評価について、毎年実施する教育課程レベル、科目レベル及び学修到達レベルの3つの評価を通じて得られる多様な情報を用いて取り組んでいる。                                                                    | A  |
|                                                    | No. 417 | 外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高めるための工夫を行っているか。                                 | 学生による授業評価や修了時調査を毎年行っている。また、修了生を対象とした修了生調査や就職先を対象とした雇用者調査を実施するなど、内外からの意見を取り入れている。                                                                         | A  |
|                                                    | No. 418 | 自己点検・評価の結果を活用し、教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。                                   | アセスメント・ポリシーに定める評価の内容・時期・方法に基づく各調査の結果を分析の上、教育の課程、内容及び方法の改善・向上に取り組んでいる。                                                                                    | A  |

| 評価項目                                                                                | 評価の視点   |                                                                                         | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                                                                                                                                               |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                                                     |         |                                                                                         | 現状説明（概要）                                                                                                                                                                                                                                                                                | 評価 |
| ①学生の受け入れ方針（AP）に基づき、学生募集及び入学<br>者選抜の制度や運営体制を適<br>切に整備し、入学者選抜を公<br>平、公正に実施しているこ<br>と。 | No. 501 | APIは、少なくとも学位課程ごと<br>（学士課程・修士課程・博士課<br>程・専門職学位課程）に設定して<br>いるか。                           | 各専攻共通のAPを設定しており、<br>大学公式Webや学生募集要項にも<br>掲載している。                                                                                                                                                                                                                                         | A  |
|                                                                                     | No. 502 | APIは、入学前の学習歴、学力水<br>準、能力等の求める学生像や、入<br>学希望者に求める水準等の判定方<br>法を志願者等に理解しやすく示し<br>ているか。      | 各専攻共通のAPIに、求める学生<br>像、入学希望者に求める水準等を<br>志願者に理解しやすく明示してい<br>る。APIは学生募集要項及び大学公<br>式Web等に明示しているほか、志<br>願者向けの説明会においてAPの説<br>明を行うなど理解を促す工夫を<br>行っている。                                                                                                                                         | A  |
|                                                                                     | No. 503 | APIに沿い、適切な体制・仕組みを<br>構築して入学者選抜を公平、公正<br>に実施しているか。                                       | 入学者選抜を適切に実施するた<br>め、関係規程に基づき専攻科に入<br>試委員会を設置しており、APIに沿<br>い選抜の方針、方法及び体制を検<br>討し決定の上、公平、公正な試験<br>を実施している。一方で、令和5<br>（2023）年度入学者選抜試験にお<br>いて試験運用の一部を変更して以<br>降、3年を経過したことから、入<br>試委員会で試験の内容や結果等を<br>分析し、入学者選抜の方法に関す<br>るDPとAPとの整合性を検証する評<br>価体制を検討していく必要がある<br>と認識しており、今後、議論を進<br>める計画である。 | B  |
|                                                                                     | No. 504 | 入学者選抜にあたり特別な配慮を<br>必要とする志願者に対応する仕組<br>みを整備しているか。                                        | 関係規程を整備の上、入学者選抜<br>にあたり特別な配慮を必要とする<br>志願者に対応する体制を構築して<br>いる。また、特別な配慮を要する<br>志願者に対し、学生募集要項や大<br>学公式Webなどに事前相談できる<br>旨を明記し、対応している。                                                                                                                                                        | A  |
|                                                                                     | No. 505 | すべての志願者に対して分かりや<br>すく情報提供しているか。                                                         | APや入学者選抜、特別な配慮等<br>に関する情報は、すべての志願者<br>に対して分かりやすく提供するため<br>に学生募集要項及びHPで公表して<br>おり、情報を入手しやすい状況で<br>ある。                                                                                                                                                                                    | A  |
| ②適切な定員を設定して学生<br>の受け入れを行うとともに、<br>在籍学生数を収容定員に基づ<br>き適正に管理していること。                    | No. 506 | 学士課程全体及び各学部・学科並<br>びに各研究科・専攻の入学者数や<br>在籍学生数を適正に維持し、大幅<br>な定員超過や定員未充足の場合に<br>は対策をとっているか。 | 入学定員の充足状況は適正な範囲<br>で推移しており、定員の未充足は<br>生じていない。大幅な定員超過や<br>定員未充足が生じないよう、ま<br>た、入学者の質・適性や定員を適<br>切に保つことに配慮の上、入学者<br>選抜を実施している。                                                                                                                                                             | A  |

| 評価項目                                          | 評価の視点   |                                                                   | 自己点検・評価結果                                                                                                                                                |    |
|-----------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                               |         |                                                                   | 現状説明（概要）                                                                                                                                                 | 評価 |
| ③学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。 | No. 507 | 学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。 | 2020（令和２）年度に２専攻の体制となってからの入学者選抜について、APに適った学生の受け入れに関する評価を実施する時期にあると認識している。今後、入試委員会で点検・評価を実施の上、学生の受け入れに関する成果や課題を定期的に把握していくための体制構築に取り組む計画である。                | B  |
| ③学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。 | No. 508 | 点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取り組みへとつなげているか。         | 2020（令和２）年度から、臨床・臨地実践能力評価、授業評価アンケート、修了時調査、修了生・雇用者調査を通じて多様なデータを得ている一方、データに基づく入学者選抜のさらなる質向上を図る仕組みを整える必要があると認識している。今後はデータを活用し入学者選抜の点検・評価を行う仕組み作りに取り組む計画である。 | B  |

【内部質保証推進委員会 所見（抄）】

|                                                             |
|-------------------------------------------------------------|
| <p>&lt;専攻科&gt;</p> <p>○ 課題（B評価）については、記載のとおり改善を進めることが妥当。</p> |
|-------------------------------------------------------------|